

# 社会福祉法人 弘正会 定款

## 第1章 総則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、福祉サービスを必要とする者が、心身ともに健やかに育成され、又は社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるとともに、その環境、年齢及び心身の状況に応じ、地域において必要な福祉サービスを総合的に提供されるよう援助することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第1種社会福祉事業

(イ) 特別養護老人ホーム事業の設置経営

(2) 第2種社会福祉事業

(イ) 老人短期入所事業の設置経営

(ロ) 地域活動支援センター事業の設置経営

(ハ) 相談支援事業の設置経営

(ニ) 就労移行支援事業の設置経営

(ホ) 就労継続支援事業の設置経営

(ヘ) 障害者就業・生活支援センター事業の設置経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人弘正会という。

(経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を愛媛県八幡浜市五反田1番耕地76番地3に置く。

## 第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員が出席し、かつ賛成することを要する。

(評議員の任期)

第7条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第8条 評議員の報酬は無報酬とする。

- 2 通勤に要した費用を旅費として支給することができ、詳細は別に定める「役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程」による。

### 第3章 評議員会

(構成)

第9条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第10条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分

- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第11条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3か月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第12条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第13条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第15条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第14条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名及び理事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第4章 役員及び職員

(役員の定数)

第15条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 6名
- (2) 監事 2名

2 理事のうち1名を理事長とする。

(役員を選任)

第16条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第17条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 理事長は、毎会計年度に4月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第18条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第19条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。

3 理事又は監事は、第15条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第20条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第21条 役員報酬は無報酬とする。

2 通勤に要した費用を旅費として支給することができ、詳細は別に定める「役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程」による。

(職員)

第22条 この法人に、職員を置く。

2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員(以下「施設長等」という。)は、理事会において、選任及び解任する。

3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

## 第5章 理事会

(構成)

第23条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第24条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長の選定及び解職

(招集)

第25条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第26条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(議事録)

第27条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第6章 資産及び会計

(資産の区分)

第28条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産の2種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 愛媛県八幡浜市五反田1番耕地76番地3所在の土地  
特別養護老人ホーム コンフォート神山 敷地1317.26㎡

(2) 愛媛県八幡浜市五反田1番耕地76番地3所在の建物  
鉄筋コンクリート2階建 延床面積1465.62㎡

3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。

4 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第29条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、八幡浜市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、八幡浜市長の承認は必要としない。

- 1 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- 2 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

(資産の管理)

第30条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第31条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第32条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
  - (2) 事業報告の附属明細書
  - (3) 貸借対照表
  - (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
  - (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
  - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。
  - 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
    - (1) 監査報告
    - (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
    - (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第33条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第34条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第35条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意がなければならない。

## 第7章 解散

(解散)

第36条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第37条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人のうちから選出されたものに帰属する。

## 第8章 定款の変更

(定款の変更)

第38条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、愛媛県知事の認可（社会福祉法第45条の3第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を愛媛県知事に届け出なければならない。

## 第9章 公告の方法その他

(公告の方法)

第39条 この法人の公告は、社会福祉法人弘正会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第40条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員、評議員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	上村 容志枝
理事	濱田 剛伸
〃	佐々木 昭
〃	宮瀬 ルミ
〃	井上 傳一郎
〃	野本 脩二郎

この定款は、愛媛県知事の認可のあった日から施行する。(平成23年8月4日)

この定款の変更は、平成24年6月29日から施行する。

この定款の変更は、愛媛県知事の認可後、平成25年4月1日から施行する。

この定款の変更は、八幡浜市長の認可後、平成26年4月1日から施行する。

この定款の変更は、八幡浜市長の認可後、平成26年12月1日から施行する。

この定款の変更は、八幡浜市長の認可後、平成27年4月1日から施行する。

この定款の変更は、八幡浜市長の認可後、平成29年4月1日から施行する。

この定款の変更は、愛媛県知事の認可のあった日から施行する。(平成29年5月10日)

## 法人単位貸借対照表

平成29年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	300,236,277	128,953,930	171,282,347	流動負債	208,155,294	23,895,508	184,259,786
現金預金	88,152,328	61,447,886	26,704,442	短期運営資金借入金	141,000,000		141,000,000
事業未収金	69,403,255	66,624,062	2,779,193	事業未払金	47,742,681	14,443,847	33,298,834
未収金	746,141	600,000	146,141	1年以内返済予定長期運営資金借入金	18,780,000	8,784,000	9,996,000
未収補助金	141,839,000		141,839,000	預り金	632,613	667,661	△35,048
立替金	48,297	0	48,297				
前払費用	47,256	12,636	34,620				
短期貸付金	0	269,346	△269,346				
固定資産	632,890,591	281,931,751	350,958,840	固定負債	296,806,940	148,861,596	147,945,344
基本財産	591,750,551	271,023,602	320,726,949	長期運営資金借入金	296,806,940	148,861,596	147,945,344
土地	69,600,000	69,600,000	0	負債の部合計	504,962,234	172,757,104	332,205,130
建物	365,880,813	142,605,709	223,275,104				
建物附属設備	156,269,738	58,817,893	97,451,845	純資産の部			
その他の固定資産	41,140,040	10,908,149	30,231,891	国庫補助金等特別積立金	266,025,164	140,471,996	125,553,168
土地	4,503,600		4,503,600	次期繰越活動増減差額	162,139,470	97,656,581	64,482,889
建物	1	1	0	(うち当期活動増減差額)	64,482,889	6,311,295	58,171,594
構築物	12,936,156	3,304,332	9,631,824				
器具及び備品	23,462,793	7,130,442	16,332,351				
権利	209,480	230,584	△21,104				
ソフトウェア	10	242,790	△242,780				
敷金	28,000		28,000				
資産の部合計	933,126,868	410,885,681	522,241,187	純資産の部合計	428,164,634	238,128,577	190,036,057
				負債及び純資産の部合計	933,126,868	410,885,681	522,241,187

## 貸借対照表内訳表

平成29年 3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	法人合計		
流動資産	300,236,277		
現金預金	88,152,328		
事業未収金	69,403,255		
未収金	746,141		
未収補助金	141,839,000		
立替金	48,297		
前払費用	47,256		
固定資産	632,890,591		
基本財産	591,750,551		
土地	69,600,000		
建物	365,880,813		
建物附属設備	156,269,738		
その他の固定資産	41,140,040		
土地	4,503,600		
建物	1		
構築物	12,936,156		
器具及び備品	23,462,793		
権利	209,480		
ソフトウェア	10		
敷金	28,000		
資産の部合計	933,126,868		
流動負債	208,155,294		
短期運営資金借入金	141,000,000		
事業未払金	47,742,681		
1年以内返済予定長期運営資金借入金	18,780,000		
預り金	632,613		
固定負債	296,806,940		
長期運営資金借入金	296,806,940		
負債の部合計	504,962,234		
国庫補助金等特別積立金	266,025,164		
次期繰越活動増減差額	162,139,470		
(うち当期活動増減差額)	64,482,889		
純資産の部合計	428,164,634		
負債及び純資産の部合計	933,126,868		

## 貸借対照表内訳表

平成29年 3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	社会福祉事業	合計	内部取引消去
流動資産	300,236,277	300,236,277	
現金預金	88,152,328	88,152,328	
事業未収金	69,403,255	69,403,255	
未収金	746,141	746,141	
未収補助金	141,839,000	141,839,000	
立替金	48,297	48,297	
前払費用	47,256	47,256	
固定資産	632,890,591	632,890,591	
基本財産	591,750,551	591,750,551	
土地	69,600,000	69,600,000	
建物	365,880,813	365,880,813	
建物附属設備	156,269,738	156,269,738	
その他の固定資産	41,140,040	41,140,040	
土地	4,503,600	4,503,600	
建物	1	1	
構築物	12,936,156	12,936,156	
器具及び備品	23,462,793	23,462,793	
権利	209,480	209,480	
ソフトウェア	10	10	
敷金	28,000	28,000	
資産の部合計	933,126,868	933,126,868	
流動負債	208,155,294	208,155,294	
短期運営資金借入金	141,000,000	141,000,000	
事業未払金	47,742,681	47,742,681	
1年以内返済予定長期運営資金借入金	18,780,000	18,780,000	
預り金	632,613	632,613	
固定負債	296,806,940	296,806,940	
長期運営資金借入金	296,806,940	296,806,940	
負債の部合計	504,962,234	504,962,234	
国庫補助金等特別積立金	266,025,164	266,025,164	
次期繰越活動増減差額	162,139,470	162,139,470	
(うち当期活動増減差額)	64,482,889	64,482,889	
純資産の部合計	428,164,634	428,164,634	
負債及び純資産の部合計	933,126,868	933,126,868	

## 法人単位資金収支計算書

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	【介護保険事業収入】	165,350,000	304,955,195	△139,605,195	
	【障害福祉サービス等事業収入】	58,855,000	56,143,183	2,711,817	
	【経常経費寄付金収入】		60,000,000	△60,000,000	
	【受取利息配当金収入】	8,600	3,691	4,909	
	【その他の収入】	7,499,400	8,711,189	△1,211,789	
	事業活動収入計(1)	231,713,000	429,813,258	△198,100,258	
	支出				
	人件費支出	135,931,000	134,269,082	1,661,918	
	事業費支出	29,070,000	45,271,053	△16,201,053	
事務費支出	48,404,000	45,232,482	3,171,518		
借入金利息支出	1,400,000	2,407,563	△1,007,563		
その他の支出	1,000	10,004	△9,004		
事業活動支出計(2)	214,806,000	227,190,184	△12,384,184		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	16,907,000	202,623,074	△185,716,074		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	141,839,000		141,839,000	
	施設整備等寄附金収入	60,000,000		60,000,000	
	施設整備等収入計(4)	201,839,000		201,839,000	
	支出				
固定資産取得支出	365,060,000	363,517,857	1,542,143		
施設整備等支出計(5)	365,060,000	363,517,857	1,542,143		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△163,221,000	△363,517,857	200,296,857		
その他の活動による収支	収入				
	長期運営資金借入金収入	390,130,000	321,601,930	68,528,070	
	その他の活動収入計(7)	390,130,000	321,601,930	68,528,070	
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	128,784,200	163,660,586	△34,876,386	
積立資産支出		28,000	△28,000		
その他の活動支出計(8)	128,784,200	163,688,586	△34,904,386		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	261,345,800	157,913,344	103,432,456		
予備費支出(10)		—			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	115,031,800	△2,981,439	118,013,239		
前期末支払資金残高(12)	113,842,422	113,842,422	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	228,874,222	110,860,983	118,013,239		

## 資金収支内訳表

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計		
事業活動による収支	収入			
	【介護保険事業収入】	304,955,195		
	【障害福祉サービス等事業収入】	56,143,183		
	【経常経費寄付金収入】	60,000,000		
	【受取利息配当金収入】	3,691		
	【その他の収入】	8,711,189		
	事業活動収入計(1)	429,813,258		
支出	人件費支出	134,269,082		
	事業費支出	45,271,053		
	事務費支出	45,232,482		
	借入金利息支出	2,407,563		
	その他の支出	10,004		
事業活動支出計(2)	227,190,184			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	202,623,074			
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)			
	支出			
	固定資産取得支出	363,517,857		
	施設整備等支出計(5)	363,517,857		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△363,517,857			
その他の活動による収支	収入			
	長期運営資金借入金収入	321,601,930		
	その他の活動収入計(7)	321,601,930		
	支出			
	長期運営資金借入金元金償還支出	163,660,586		
積立資産支出	28,000			
その他の活動支出計(8)	163,688,586			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	157,913,344			
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△2,981,439			
前期末支払資金残高(11)	113,842,422			
当期末支払資金残高(10)+(11)	110,860,983			

## 資金収支内訳表

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		社会福祉事業	合計	内部取引消去
事業活動による収支	収入			
	【介護保険事業収入】	304,955,195	304,955,195	
	【障害福祉サービス等事業収入】	56,143,183	56,143,183	
	【経常経費寄付金収入】	60,000,000	60,000,000	
	【受取利息配当金収入】	3,691	3,691	
	【その他の収入】	8,711,189	8,711,189	
	事業活動収入計(1)	429,813,258	429,813,258	
	支出			
	人件費支出	134,269,082	134,269,082	
	事業費支出	45,271,053	45,271,053	
事務費支出	45,232,482	45,232,482		
借入金利息支出	2,407,563	2,407,563		
その他の支出	10,004	10,004		
事業活動支出計(2)	227,190,184	227,190,184		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	202,623,074	202,623,074		
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)			
	支出			
	固定資産取得支出	363,517,857	363,517,857	
	施設整備等支出計(5)	363,517,857	363,517,857	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△363,517,857	△363,517,857		
その他の活動による収支	収入			
	長期運営資金借入金収入	321,601,930	321,601,930	
	その他の活動収入計(7)	321,601,930	321,601,930	
	支出			
	長期運営資金借入金元金償還支出	163,660,586	163,660,586	
積立資産支出	28,000	28,000		
その他の活動支出計(8)	163,688,586	163,688,586		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	157,913,344	157,913,344		
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△2,981,439	△2,981,439		
前期末支払資金残高(11)	113,842,422	113,842,422		
当期末支払資金残高(10)+(11)	110,860,983	110,860,983		

## 法人単位事業活動計算書

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	【介護保険事業収益】	304,955,195	169,285,432	135,669,763
	【障害福祉サービス等事業収益】	56,143,183	51,566,612	4,576,571
	【経常経費寄付金収益】	60,000,000		60,000,000
	サービス活動収益計(1)	421,098,378	220,852,044	200,246,334
	費用			
人件費	134,269,082	137,674,506	△3,405,424	
事業費	45,271,053	27,783,244	17,487,809	
事務費	45,232,482	45,699,772	△467,290	
減価償却費	12,587,017	11,744,009	843,008	
サービス活動費用計(2)	237,359,634	222,901,531	14,458,103	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	183,738,744	△2,049,487	185,788,231	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益等	3,691	11,274	△7,583
	その他のサービス活動外収益	8,711,189	4,123,045	4,588,144
	サービス活動外収益計(4)	8,714,880	4,134,319	4,580,561
	費用			
	支払利息	2,407,563	2,477,970	△70,407
その他のサービス活動外費用	10,004		10,004	
サービス活動外費用計(5)	2,417,567	2,477,970	△60,403	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	6,297,313	1,656,349	4,640,964	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	190,036,057	△393,138	190,429,195	
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)			
	費用			
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△7,139,061	△6,704,433	△434,628
	国庫補助金等特別積立金積立額	132,692,229		132,692,229
	特別費用計(9)	125,553,168	△6,704,433	132,257,601
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△125,553,168	6,704,433	△132,257,601	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	64,482,889	6,311,295	58,171,594	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	97,656,581	91,345,286	6,311,295
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	162,139,470	97,656,581	64,482,889
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)			
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	162,139,470	97,656,581	64,482,889

## 事業活動内訳表

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計		
サービス活動増減の部	収益			
	【介護保険事業収益】	304,955,195		
	【障害福祉サービス等事業収益】	56,143,183		
	【経常経費寄付金収益】	60,000,000		
	サービス活動収益計(1)	421,098,378		
費用	人件費	134,269,082		
	事業費	45,271,053		
	事務費	45,232,482		
	減価償却費	12,587,017		
サービス活動費用計(2)	237,359,634			
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	183,738,744			
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益等	3,691		
	その他のサービス活動外収益	8,711,189		
	サービス活動外収益計(4)	8,714,880		
	費用			
支払利息	2,407,563			
その他のサービス活動外費用	10,004			
サービス活動外費用計(5)	2,417,567			
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	6,297,313			
経常増減差額(7)=(3)+(6)	190,036,057			
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)			
	費用			
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△7,139,061		
	国庫補助金等特別積立金積立額	132,692,229		
特別費用計(9)	125,553,168			
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△125,553,168			
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	64,482,889			
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	97,656,581		
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	162,139,470		
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)			
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	162,139,470		

## 事業活動内訳表

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		社会福祉事業	合計	内部取引消去
サービス活動増減の部	収益			
	【介護保険事業収益】	304,955,195	304,955,195	
	【障害福祉サービス等事業収益】	56,143,183	56,143,183	
	【経常経費寄付金収益】	60,000,000	60,000,000	
	サービス活動収益計(1)	421,098,378	421,098,378	
費用	人件費	134,269,082	134,269,082	
	事業費	45,271,053	45,271,053	
	事務費	45,232,482	45,232,482	
	減価償却費	12,587,017	12,587,017	
	サービス活動費用計(2)	237,359,634	237,359,634	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		183,738,744	183,738,744	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益等	3,691	3,691	
	その他のサービス活動外収益	8,711,189	8,711,189	
	サービス活動外収益計(4)	8,714,880	8,714,880	
	費用			
支払利息	2,407,563	2,407,563		
その他のサービス活動外費用	10,004	10,004		
サービス活動外費用計(5)	2,417,567	2,417,567		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		6,297,313	6,297,313	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		190,036,057	190,036,057	
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)			
	費用			
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△7,139,061	△7,139,061	
	国庫補助金等特別積立金積立額	132,692,229	132,692,229	
特別費用計(9)	125,553,168	125,553,168		
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△125,553,168	△125,553,168	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		64,482,889	64,482,889	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	97,656,581	97,656,581	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	162,139,470	162,139,470	
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)			
	その他の積立金積立額(16)			
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	162,139,470	162,139,470	

## 社会福祉法人弘正会 役員・評議員 一覧表

平成29年6月13日時点

### ■役員(理事・監事)

役職名	氏名	職業
理事長	上村容志枝	医療法人役員
理事	清水 幹雄	医療法人職員
理事	宇都宮弓子	(社福) 弘正会コンフォート神山・松柏 施設長
理事	鳥生 陽子	(社福) 弘正会地域活動支援センターくじら 施設長
理事	高石 徳香	(社福) 弘正会ねっとworkジョイ 施設長
理事	大塚 彦文	株式会社社員
監事	西 嶋 吉 光	弁護士
監事	宮崎 秀次	司法書士

### ■評議員

役職名	氏名	現役職名
評議員	宮瀬 ルミ	元・民生委員、児童委員
評議員	井上 傅一郎	元・中学校長、八幡浜市教育委員会教育長
評議員	野本 脩二郎	社会保険労務士
評議員	此上 勝	元・民生委員、児童委員
評議員	嶋田 修	建築士
評議員	菊地 浩一	元・公民館運営審議員
評議員	中川 つる美	元・民生委員、児童委員

社会福祉法人弘正会  
役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程

(目的及び意義)

第1条 この規程は、社会福祉法人弘正会(以下「法人」という。)の第8条及び第21条の規定に基づき、役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- 2 役員とは、理事及び監事をいう。
- 3 費用とは、職務遂行に伴い発生する旅費等であって、報酬等とは明確に区分されるものとする。

(報酬の支給)

第3条 役員及び評議員に対する職務執行の報酬は無報酬とする。

(費用弁償の支給及び支給方法)

第4条 法人は、役員及び評議員が通勤に要した費用を旅費として支給する。

- 2 金額は、一律3,000円とし、必要の都度、現金にて支払うものとする。

(改廃)

第5条 この規程の改廃は、評議員会の決議によって行なう。

(補足)

第6条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が評議員会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

この規程は平成29年4月1日から施行する。